

令和7年度の学校評価（年度当初）

| 本年度の重点目標 | | 1 子どもたちが健康で安全に学校生活を送り、保護者が安心して登校させることができる学校 2 一人一人に応じたきめ細やかな教育と自立を目指した指導・支援の推進 3 特別支援教育におけるセンター的機能の充実と地域に開かれ地域と協働する学校 4 実効性のある働き方改革の推進 | |
|------------|---|--|---|
| 項目 (担当) | 重点目標 | 具体的方策 | 留意事項 |
| 小学部 | <ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な学校生活のための教育環境の整備 卒業後に向けた系統的な学習の取組 交流及び共同学習の推進と充実 | <ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な学習環境の整備と健康管理における関係者の連携、職員間の連携 各教科の内容を踏まえた授業実践の変容と充実 学校間交流の更なる充実児童の実態に合わせた活動内容やグループ、集団の人数の調整 | <ul style="list-style-type: none"> けが等防止を念頭に指導体制や学習環境を整え、学年間の情報共有を積極に行う。 各教科の内容の系統性を踏まえた授業展開を意識し、目標や手だてを関係職員等で共有していく。 オンライン、直接交流の併用実施の工夫や相互の理解を深められよう児童の実態に合った課題や内容を検討する。 |
| 中学部 | <ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な学習環境の整備 卒業後の生活を見据えたキャリア教育の推進 地域資源を活用した学習の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 健康、安全に関する情報や、ヒヤリハット事例等の共有、迅速な対応・改善、生徒の実態に合わせた環境整備や職員配置、課題 人と関わる力やコミュニケーション力、生活力等の向上を目指した授業実践 交流相手校との活動内容の充実、地域資源を活用した授業実践 | <ul style="list-style-type: none"> 教職員間の連携を強化し、報告・連絡・相談ができる体制をつくる。日頃から生徒の健康観察に努め、異変に気付けるようにする。 多くの教職員と関わる場面を設定する。卒業後の生活を意識した授業内容を検討する。 双方の目的に沿った活動内容等を検討する。地域の特性を生かした活動を検討する。 |
| 高等部 | <ul style="list-style-type: none"> 健康な生活を実践する意識の醸成 自立と社会参加に必要な知識、技能、態度の育成 地域社会との交流の積極的推進 | <ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な教育を行うための環境整備と健康・安全意識を高める指導の充実 卒業後の生活に直結する学びに向けた目標設定 周囲と適切に関わる力を引き出すための目標設定 地域社会との協働を、交流活動や啓発活動、出前授業、スポーツ活動を通して具現化 | <ul style="list-style-type: none"> 安全に対する意識を常に共有する意識を醸成 看護員を含む職員間の連携を密に教育環境を整備 課題への、学校、本人及び保護者一体の進路指導 個に応じたコミュニケーション方法を模索 交流及び共同学習の実施方法の工夫、地域資源の活用等による障害者理解の啓発 |
| 総務部 | <ul style="list-style-type: none"> 作品展代替案や学校だより等の計画と調整、業務内容の改善 | <ul style="list-style-type: none"> 校内掲示の調整、各部掲示作品を含めた希望調査 作成物に関わる校務分掌や保護者等との連携 継続的な業務内容の見直し | <ul style="list-style-type: none"> 各部と連携して作品展示の調整、学校掲示全体のPDCAサイクルを図る。 PTAとの連携や校務分掌等との連絡、調整をする。 細かな業務でも検討、見直しで改善につなげる。 |
| 教務部 | <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づく教科指導の実践推進 | <ul style="list-style-type: none"> 各教科の指導例、見方・考え方等の情報提供 教員による教科の指導内容の検討に対する助言等 個別の指導計画の様式、利活用のためのシステム検討 | <ul style="list-style-type: none"> 教科指導に関する情報提供や、教員自身が教科について検討する場の提供、評価・実践を行いやすい環境を整えることで、学校全体の教科指導の推進を図る。 |
| 研修部 | <ul style="list-style-type: none"> 職員の資質・能力・意欲の向上につながる情報や機会の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 職員が主体的・対話的に深く学び合える研修の機会や方法の検討と提供 肢体不自由教育の専門性と授業づくり向上に重点を置いた学習機会の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 校内研修を中心に、研修会への参加者数を増やす工夫や授業見学の機会を設定することを検討する。 職員が書籍情報や研修会等の資料に気軽にアクセスできる方法を検討する。 |
| 教育情報部 | <ul style="list-style-type: none"> ICT教材を活用した学習環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ICT教材の保管場所や使用場所の設定と周知 積極的な情報収集を行い機器の導入を検討 | <ul style="list-style-type: none"> 校務支援システムや研修を通して、ICT教材の活用について情報提供を行う。 他の校務と連携をして、ICT教材の情報収集を行い、活用に向けて機器の導入や場所の設定を行う。 |
| 指導部 | <ul style="list-style-type: none"> 学校の安全管理に努め、安心で安全な学校 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者を交えた引き渡し訓練や実行力のある防災・防犯訓練の提案、実施 スクールバスの安全な運営 職員間、保護者間で安全に対する意識向上 | <ul style="list-style-type: none"> 実際場面に則した訓練になるように工夫していく。 安全なスクールバスの乗降について介護員、保護者への周知、徹底を図る。 防犯、防災の研修の充実を図る。 |
| 進路指導部 | <ul style="list-style-type: none"> 教職員や保護者への将来の生活に関する情報提供 | <ul style="list-style-type: none"> 教職員対象に将来の生活に関する情報提供や学習会の実施 保護者対象に進路説明会や関係機関と共催での学習会を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 校内支援システムを活用して将来の生活を見据えた具体的な情報を定期的に情報提供をする。 関係機関と連携して保護者へ将来を見据えた情報や進路に必要な最新の情報提供や学習会を実施する。 |
| 保健体育部 | <ul style="list-style-type: none"> 安全・安心に学校生活を送るための環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> けがの予防のためのヒヤリハット事例の収集・活用 安心安全な医療的ケアの実施 | <ul style="list-style-type: none"> 授業、給食、医療的ケア各部門からヒヤリハット事例を集約して検証し、対策を講じる。 医療的ケアコーディネーターを中心として看護員と教職員の協力体制を強化する。 |
| 自立活動部 | <ul style="list-style-type: none"> 自立活動の授業づくりを支える情報提供の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 授業づくりを意識した情報交換会や研修会の企画・運営 経験の浅い教員対象に、新転任研修や校務支援システムでの情報提供の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の実態に合った授業づくりを推進し、専門性の高い研修会を設定する。 自立活動の基礎的な知識や情報を提供、共有することで専門性の向上を図る。 |
| 教育支援部 | <ul style="list-style-type: none"> 巡回相談等で地域のニーズを収集し必要とされる特別支援の情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> 要望に応じて必要な研修会を実施 特別支援教育の指導方法や進路等について学校HPやPOTETOなどで情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> 巡回相談、指導検討会など、本校から希望校に訪問する際は、事前に相談内容を聞き取り、指導に生かすことができる情報を発信する。 巡回相談や指導検討会等で知りたい情報を把握し、指導方法や進路についての情報発信を図っていく。 |

